

緑のセンターだより

NO. 173 平成 25 年 8 月 1 日 発行

発行元：（公財）札幌市公園緑化協会 豊平公園緑のセンター

エゾニュウ (蝦夷ニュウ)

セリ科シシウド属
Angelica urisina



夏の初めの頃、道端や草原、海岸部などで、回りの草より一段と抜きんで、白い小花が多数集まって壮大な花をつける植物が目立ちます。このように大きな形態を持つ植物は、

エゾニュウ、アマニュウ、エゾノヨロイグサ、オオハナウドの4種です。

エゾニュウとは、「北海道（^{えぞ}蝦夷）のニュウ」、の意味です。「ニュウ」とはアイヌ語からきており、食用・薬用になる草本を指します。

自生地は北海道、本州北部から中部に分布し、山すそ、道端や草原、海岸部です。

茎は太く、中空で、直径5～6cmもあり、直立して上部で分枝し、草丈は1～3mになります。鞘は卵形で大きくふくれて赤く色付いています。葉は1～2回3出羽状複葉で大形です。小葉は長さ10～20cmで3裂しています。葉裏の脈上に毛があります。葉柄も下部または全部がいちじるしくふくれ、茎を抱いています。花は頂部につき、大形の傘形花序に無数の小さな花をつけます。花期は7～9月です。

山地の山菜が伸び切る初夏ごろ、熊は主に甘味があるこのエゾニュウの茎を食用としていますので、踏み入る時は注意したほうがいいでしょう。

山菜としての利用

新芽はアシタバに似た味がして、セロリのような香りとホロ苦さがあります。若い芽、茎を食用にします。ゆでて水でさらして、ゴマ酢あえ、酢味噌あえ、煮物、油炒め、三杯酢などにします。また、花茎の臺（とう）を塩漬けにして保存しておき、料理をする時は塩抜きをして、油炒め、煮物などにします。 (T.T)

エゾニュウの みすばらしくも 枯れて立ち



花芽の出方



花茎の臺（とう）

8月の園芸作業

このコーナーの園芸作業は札幌地方での目安です。
ここに掲載した以外の作業もたくさんありますので、
ご不明な点は緑の相談までお気軽にお問い合わせください。

緑の相談受付 10:00～12:00、13:00～16:00

☆豊平公園 811-9370 月曜以外毎日
(月祝日の場合は受付し、翌平日休み)
☆百合が原公園 772-3511 木曜、日曜
☆平岡樹芸センター 883-2891 水曜、土曜
❖お電話は14時～15時が繋がりがりやすくなっております❖

◆カエデの夏季剪定

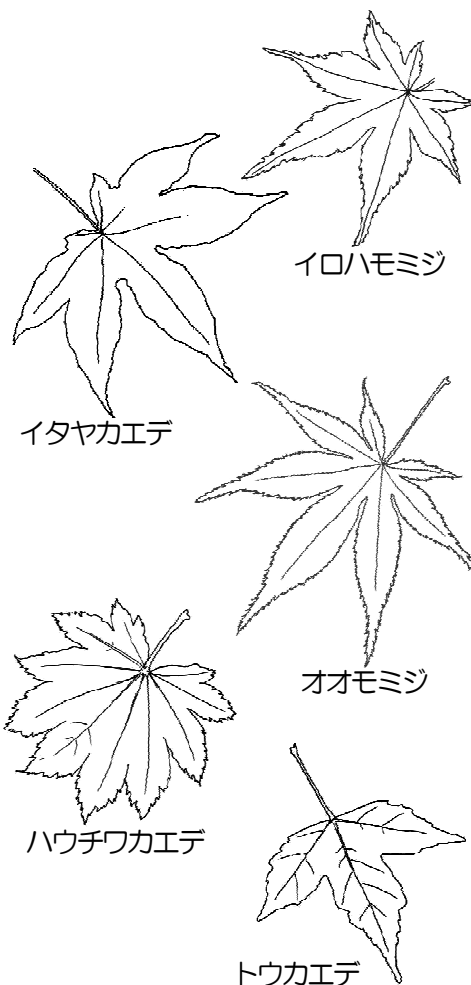
新緑の庭木は色とりどりあり綺麗ですが、一次成長の終る7月中旬ともなると、枝葉が生い茂ります。特にカエデ類は葉数が多く、庭が一段とうっとおしくなります。

夏に強度の剪定で坊主状態にされたカエデをよく見かけられますが、日陰になっていた下葉に急に日が当たると葉焼けを起こします。また、幹にも急に直射日光が当たり皮焼けし、亀裂が生じ枯れてしまう場合もあり、とくにハウチワカエデは要注意です。

夏の剪定は徒長枝や込み合っている樹冠内部の枝や枯れ枝などを切る透かし剪定にとどめ、樹冠部にはあまり手を入れず、そのままにして秋の紅葉に備えます。樹冠を下からのぞき、木漏れ日がわずかに見える程度が良いでしょう。この時期に強剪定しますと萌芽枝がたくさん出てきますが、枝は短くなってしまうため、きれいな紅葉もあまり期待できません。また、まだ切り口から樹液が出てしまうため、大枝などを切り落す強剪定は紅葉を楽しんだあと、落葉後に行います。

夏剪定後乾燥が続くようでしたら、十分灌水し葉焼けや幹焼けを防ぎましょう。とくに南西面に植えられているものは要注意です。

元来、カエデ類は谷川沿いなど土壤水分が多く、空中湿度もやや高いところに良く育ち、きれいな紅葉となります。もみじの名所は溪谷に多く見られるのはこのためです。



◆ Q & A ◆

Q 秋に地面から花茎を伸ばし、比較的大型でカップ状の藤色の花を咲かせているのは、何という花ですか？ (北区Sさん)

A コルチカム (イヌサフラン) といいます。春咲き種もありますが、道内で栽培されているのは、夏植え球根の秋咲き種です。

葉は春から繁り、夏には枯れます。水はけの良い砂質土、火山灰土、粘質土で育ちます。

花期は9月下旬から10月です。花は大変目立ちますので、芝生の縁、樹木の下など良く見える場所に植えると良いでしょう。日当たりが良くないと、花は美しく色付きません。

球根は、夏に植え込みます。球根の底部に数個の生長点があるので、傷めないように取り扱います。一度植えたら数年そのまま育てます。植え替えの適期は、葉が枯れた頃で、掘り上げたら直ぐ植え込みます。肥料は、春に葉が伸び始めたら、油粕+骨粉+化成肥料を与えます。

山菜のアマドコロ、ギョウジャニンニク、野菜のミョウガなどとの誤食による中毒 (原因はコルヒチン) がありますので、注意したいものです。球根、実生で殖えます。

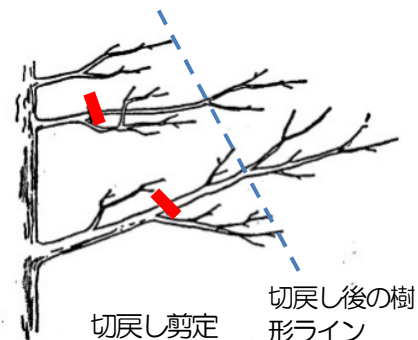


◆クロマツ・アカマツの剪定

クロマツは樹皮が黒く、葉が剛直なことから男松と呼ばれ、アカマツは樹皮に赤みがあり、針葉に柔らかみがあることから女松とも呼ばれ、両松とも和風庭園の正親木、門冠り、流枝づくりなどにかかせない重要な樹種です。

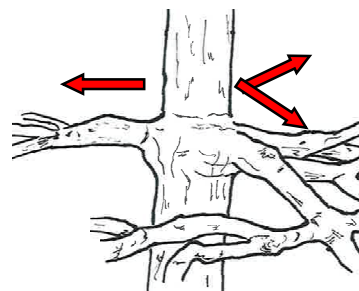
剪定はなぜ必要か

庭木を剪定する（枝を切る）のは美しい樹形を造り、その姿を維持するために行う作業です。放任しておくと力の強い枝は旺盛に生長する一方、下枝などは次第に衰弱して枯死するような結果を招くため、強い枝を意識的に切り詰めることで、バランスのとれた生長が期待できます。ただし、枝を切ると言うことは樹木にとって相当な負担となるので、樹種の性質を知ったうえで行うことが大切です。



マツ類のみどり摘みと剪定

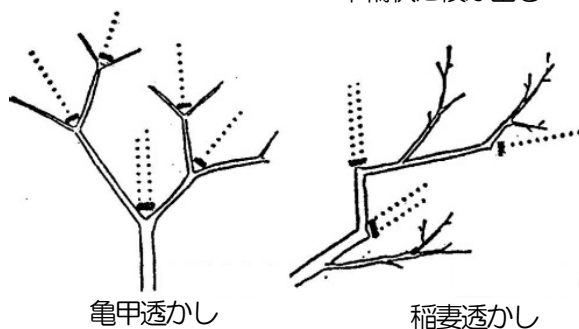
「みどり摘み」はマツ類を育てるうえで重要な作業です。今年伸びた新芽を手で一つ一つつまんで取り除いていきます。この作業をすることで、節間を短くすることと芽数を増やし、枝葉を充実させていくことができます。ですが、みどり摘みだけを毎年作業していたのでは、どんどん枝葉が混み合ってしまうので、「枝透かし」という剪定作業が必要になります。「みどり摘み」と「剪定」はセット作業と言えるでしょう。みどり摘みは新芽が柔らかい7月上旬には終わらせなければなりません。



さて、マツ類の剪定を行う時期ですが、春から伸びた新鞘が固まる7月中旬～9月上旬までがいちばん良い時期です（その年の天候により差異があるので注意が必要）。芽は切る枝に葉が残っていないとほとんど出ないので、葉はできるだけ環状に残すようにします。新芽が付きやすいのは1～2年目の葉のところですが。剪定時は過度の枝透かしをしないよう注意し、秋遅くや冬期の剪定はなるべく控えるようにします。

また、松類は枝が車輪状(カンヌキ)に上下おなじ方向に出るので、枝を抜く場合、上下の段で互い違いになるように行い、日光がそれぞれの枝にまんべんなく当たり、風通しが良くなるようにします。

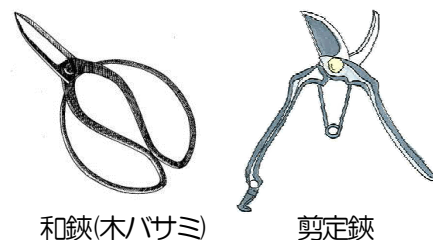
透かし方としては枝の三ツ股の芯を抜く亀甲透かし、枝先の方向を稲妻のようにしていく稲妻透かしがあります。



クロマツ、アカマツは他のマツ類より胴吹き芽の発生がほとんど無いので、必ず葉を残し、枯れ枝、混みすぎた枝、絡み枝、重なり枝を切って、次に小枝の切り透かしを行います。樹形が崩れている場合でも大枝を切り透かす剪定は極力控え、2～3年掛けて樹形を整えていきます。

特に、アカマツは萌芽力が弱いので強剪定や急激な枝抜きは避けた方がよいでしょう。長すぎる枝は、小枝を残して切り戻しますが、必ず葉がついた所で切り戻します。この場合、葉が付いていても絶対に芽が出るとは限らないので注意しましょう。

ハサミは剪定鋏より、和鋏（木バサミ）を使うと良いでしょう。剪定鋏は片刃が多く、一方の刃が太いため、細かいところ（葉のつけね）まで刃先が入っていきにくいですが、和鋏は両刃で刃先が尖っているので葉先を傷めずに切る事ができます。鋏で切る場合、葉を傷めないよう刃を立て、葉と葉の内側に入れて切ります。



マツカサは全部取るか、少し残して風情が出るようにすると良いでしょう。



8月～9月の催しのお知らせ

豊平公園 緑のセンター 豊平区豊平5条13丁目 TEL 011-811-6568 <http://www.sapporo-park.or.jp/toyohira/>

内容	日	時間	申込受付開始日	費用・備考
展示会				
サボテンと多肉植物展	9月10日(火)～9月16日(月祝)		札幌カクタスクラブ	入場無料
園芸教室・自然教室				
サボテンの秋冬の管理	9月14日(土)	13:30～	8/11(日)～	無料
クラフト教室				
あけびの平かご	8月28日(水)	10:00～	8/11(日)～	2,300円
現代押し花アート体験・ミニ額づくり コーナーのアレンジ	9月10日(火)	10:00～	〃	2,500円
夏休み子供向け教室(中学生以下対象:小学3年生以下は保護者同伴が必要です)				
植物で染めて遊ぼう!公園の染物教室	8月10日(土)	10:00～	7/11(木)～	1,200円/組
親子で初めてのフラワーアレンジ教室	8月17日(土)	10:00～	〃	1,000円/組

百合が原公園 緑のセンター 北区百合が原公園210 TEL 011-772-3511 <http://www.sapporo-park.or.jp/yuri/>

内容	日	時間	申込受付開始日	費用・備考
講習会・実践講座!				
オリエンテーリング	8月6日(火)～18日(日)	9:00～17:00	直接会場へ	別途施設使用料
お散歩ガイド	9月7日,14日他	13:00～	直接会場へ	無料
展示会・コンサート				
エアープランツ展	9月3日(火)～9月16日(月祝)			温室入館料130円

平岡樹芸センター 清田区平岡4条3丁目 TEL 011-883-2891 <http://www.sapporo-park.or.jp/jyugei/>

内容	日	時間	申込受付開始日	費用・備考
園芸教室・自然教室				
庭木の手入れ⑥オンコの整枝・剪定	8月18日(日)	10:00～、13:30～	8/11(日)～	300円
鉢花等の秋管理	8月30日(金)	13:30～	〃	100円
秋の庭仕事(座学)	9月1日(日)	10:00～	〃	〃
庭木の手入れ⑦モミジ類の整枝・剪定	9月8日(日)	10:00～、13:30～	〃	300円
アレンジ教室				
グリーンと実もののリース	9月12日(木)	13:00～	8/11(日)～	3,000円

その他の公園

イベント 内容	日時	備考	問い合わせ・申込み先	
滝野ガーデンフェア	7月13日(土)～8月18日(日)	駐車料金有 別途入園料有 遊びにより有料 クラフト体験:先着,300円	滝野すずらん 丘陵公園	592-3333
コスモスフェスタ	9月7日(土)～10月6日(日)			
夏休みクラフト体験	8月17日(土),18日(日) 10:30～,13:30～			
森の家 自然観察会	8月11日,9月15日(日)9:00～	要申込:無料	旭山記念公園	200-0311
秋のチョウチョと虫の観察会	9月8日(日)10:00～	要申込:無料	平岡公園	881-7924
子りす工房～子どもの日 「木の昆虫を作ろう!」	8月18日(日)10:00～,13:30～	要申込:300円	西岡公園	582-0050
西岡の森たんけん隊	8月15日(木)10:00～15:00 要昼食	要申込:100円		
忍者修行～西岡公園の巻	8月17日(土)13:00～	要申込:100円		
開館10周年記念 狩野哲郎展	7月26日(金)～8月25日(日)	直接会場へ	モエレ沼公園	790-1231
週末ミニコンサート	8月17日(土)14:00～,16:30～	直接会場へ		
モエレ沼公園ガイドツアー	8月25日(日)10:00～	要申込:500円		
オータムフェスティバル	9月7日(土),8日(日)10:00～	遊びにより有料	川下公園	879-5311
オオハンゴンソウ駆除大作戦	8月24日(土)10:00～	要申込:無料	円山公園	621-0453
サンキューフェスティバル	8月30日(金)～9月1日(日) 30日13:00～,31・1日11:00～	直接会場へ	創成川公園	563-6788
真駒内川ミニすいぞくかん	8月24日(土)14:00～	直接会場へ	さけ科学館	582-7555